



iPhone 8 Plus LCDとデジタイザの交換

iPhoneのディスプレイアセンブリ全体を交換するには、iFixitオリジナルのフィックスキッ...

作成者: Jeff Suovanen



はじめに

iPhoneのディスプレイアセンブリ全体を交換するには、iFixitオリジナルの[フィックスキット](#)を使って [簡略版修理ガイド](#)を参照して作業を進めてください。

修理経験が豊富な方は、このガイドでiPhone 8 Plus LCDとデジタイザアセンブリ(別名:”フロントパネル”)のみを交換してください。このガイドではオリジナルスクリーンから交換用の新しいスクリーンに幾つかのコンポーネントを移植しなければなりません。[フロントカメラ](#)や[イヤホンスピーカー](#)、LCDシールドプレートとホームボタンアセンブリを含みます。

全てのスクリーン/ディスプレイの修理では、オリジナルのホーム/**Touch ID**センサの機能を保持するため、交換用のディスプレイに移植することが重要です。ソリッドステートのホームボタンはAppleの工場製造時にオリジナルのロジックボードとペアで製造されています、そのため、パーツを交換すると機能しなくなります。

ご注意: スクリーンの交換後、iPhoneの明るさ自動調節機能が反応しない場合は、お持ちのiPhoneが[iOS 12](#)にアップデートされているか確認してください。スクリーンを交換した後はTrue Toneは機能しません。オリジナルのAppleスクリーンを再装着した後も同様です。

ツール:

- [万能ハサミ](#) (1)
- [Anti-Clamp](#) (1)
- [P2 ペンタローブドライバー](#) (1)
- [iOpener](#) (1)
- [ハンドル付き吸盤](#) (1)
- [iFixit開口用ピック\(6枚セット\)](#) (1)
- [iFixit開口ツール](#) (1)
- [ピンセット](#) (1)
- [#000 プラスドライバー](#) (1)
- [トライポイントY000 ドライバー](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)

部品:

- [iPhone 8 Plus LCD and Digitizer](#) (1)
 - [iPhone 8 Plus ディスプレイアセンブリ用接着剤](#) (1)
 - [iPhone 8 Plus LCD スクリーンとデジタイザ - どちらか選択](#) (1)
 - [iPhone 8 Plus ディスプレイシールドプレート用ネジセット](#) (1)
-

手順1 — ペンタローブネジ



⚠ 作業開始前にiPhoneのバッテリーを25%以下まで放電してください。充電されたリチウムイオンバッテリーは、バッテリーに穴が空いた場合、引火や爆発の恐れがあります。

- 分解を始める前に、iPhoneの電源を切ってください。
 - iPhone下部底面に留められた3.5 mmペンタローブネジを2本を取り外します。
- ⓘ iPhoneのディスプレイを開口すると、防水用シールを破壊してしまいます。この手順以降の作業には、[交換用シール](#)を準備してください。シールを交換しないで組み立てる場合は、防水機能を失っていますのでご注意ください。

手順2— ディスプレイ上のテーピング



- ディスプレイのガラスが割れている場合、作業中さらにダメージが広がったり、作業中、怪我をしないようガラスの表面にテープを貼ります。
- 透明な粘着テープをiPhoneディスプレイ表面上に二重に装着します。
 - ① この手順によってディスプレイを持ち上げた際に、ガラスが飛び散ったりすることなく、構造を保つことができます。

⚠ 作業中、ガラスが飛び散ることがあるため、保護メガネを着用してください。

- 次のひび割れたガラスのため、次の手順で吸盤カップを引き上げれない場合は、ダクトテープのような強力な粘着テープを使ってハンドルを作り引き上げてください。

手順3 — ひび割れた画面の上にテープを貼る



① iPhoneの画面が割れてしまった場合、ガラスをテーピングで覆えば、さらなる破損の広がりを抑えることができます。また修理中に発生するアクシデントを防ぐことができます。

- iPhoneの画面全体に、透明な梱包用テープを重ね合わせます。

⚠ 作業中、飛散する可能性のあるガラスから目を保護するため、安全眼鏡を着用してください。

- 次の手順でうまく吸盤が装着しない場合は、強力なテープ（ガムテープなど）を持ち手に折って、代わりにスクリーンを持ち上げてみてください。

① それでもうまくいかない場合は、吸盤カップに瞬間接着剤をつけて、スクリーン上に貼り付けてください。

手順4 — リバースクランプの使用方法



- 次の3つの手順では、デバイスの開口作業を簡単にするために開発されたツール、リバースクランプの使い方を紹介します。リバースクランプを使用しない場合は、この3つの手順をスキップして別の方法をご覧ください。
- ① リバースクランプの詳細な使用方法については、[こちらのガイド](#)をご覧ください。
- 青いハンドルを後方に引き、リバースクランプのアームのロックを解除します。
- iPhoneの左/右側の端に向けてアームをスライドします。
- 吸盤カップを、ホームボタンすぐ上のiPhoneの下端付近に装着します。上部に一つ、下部に1つずつ取り付けます。
- 吸盤カップ両側をしっかりと握って、当てたい位置に吸引力を加える、装着します。
- ① デバイスの表面が滑りやすく、リバースクランプがしっかりと装着できない場合は、[梱包用テープ](#)で表面を覆ってから、強いグリップを作ることができます。

手順 5



- 青いハンドルを手前に引くと、アームがロックされます。
- ハンドルを時計回りに360度回転させ、カップが両側をストレッチするまで回し続けます。
- 吸盤の位置が合っていることを確認してください。装着位置がずれ始めたら、吸盤を少し緩めてアームを装着し直してください。

手順 6



- [iOpener](#)を熱して、リバースクランプのアームに通します。
- ① [ヘアードライヤー](#)、[ヒートガン](#)、ホットプレートを使うこともできますが、極度の熱はディスプレイや内蔵バッテリーを損傷させる可能性があるため、注意してください。
- iOpenerをiPhoneの下端に重なるように折ります。
- 接着剤がはがれて、隙間ができるまで1分待します。
- クランプで十分な隙間が作れたら、スクリーンのプラスチックベゼルの下にオープニングピックを挿入します。
- ① クランプで十分な隙間が作れない場合は、さらに接着面に熱を当てて、クランプを1/4程度時計回りに回してください。
- ⚠ 一回ごとの作業で1/4以上回さないでください。クランプをまわしたら数秒間待ってください。リバースクランプの効果を待ってから、作業を続けてください。
- 次の3つの手順はスキップしてください。

手順 7



① 次の3つの手順では、吸盤を使ってスクリーンを乖離します。

② iPhoneの下端を加熱すると、ディスプレイを固定している接着剤が柔らかくなり、開きやすくなります。

- ヘアドライヤーを使用するか、[iOpener](#)を準備し、ディスプレイ裏側の接着剤を柔らかくするために、iPhoneの下端に約90秒間あてます。

手順 8



- ホームボタンのすぐ上にあるフロントパネルの下半分に吸盤を取り付けます。

① 吸盤カップをホームボタン上に装着しないでください。吸盤カップをしっかりとフロントガラスに固定するためです。

手順 9



- 一定の力で吸盤カップを引き上げて、フロントパネルとリアケースの間にわずかな隙間を作ります。
- 隙間に開口ピックまたは薄い開口ツールを挿入します。
 - ① ディスプレイを所定位置に固定する防水性接着剤は非常に強く、最初の間隙を作るにはかなりの力を要します。なかなか隙間ができない場合、さらに熱を加えたり、ピックを挿入できるだけの十分な隙間を作るために画面を上下にゆっくり揺り動かして接着剤を弱めます。

手順 10



- 開口ピックを左下からiPhoneの音量コントロールボタンとサイレントスイッチの方向にスライドさせて、ディスプレイを固定している接着剤を剥がします。
- ディスプレイの左上隅付近で停止します。

手順 11 — スクリーン情報



⚠️ iPhoneの右端に繊細なケーブルがあります。ここにピックを差し込まないでください。ケーブルを傷つける恐れがあります。

手順 12



- iPhoneの右下隅に開口ピックを再度差し込み、角を回ってiPhoneの右上にスライドさせて接着剤を剥がします。

⚠️ ディスプレイケーブルを損傷する恐れがあるので、ピックを3mm以上差し込まないでください。

手順 13



- ディスプレイの下端を押さえながら、吸盤カップをゆっくりと引き上げます。

⚠ ディスプレイを15°以上持ち上げないでください。ディスプレイが接続されたりボンケーブルを傷つけたり、破損する恐れがあります。

手順 14



- 吸盤カップの小さな持ち手(ノブ)を緩めて、フロントパネルから取り外します。

手順 15



- ディスプレイ下の開口ピックを左上の角からiPhoneの上端に沿ってスライドさせて、残りの接着剤を剥がします。

手順 16



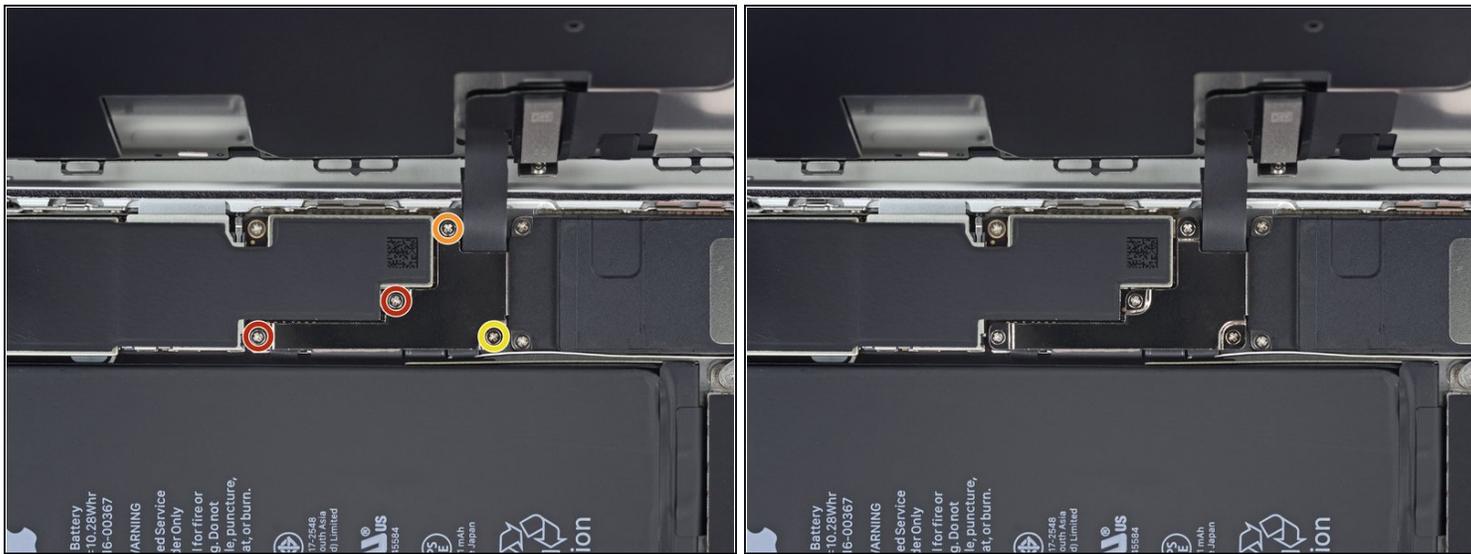
- ディスプレイアセンブリをわずかに下に（iPhoneの上端から離して）スライドさせて、リアケースに固定しているクリップを外します。

手順 17



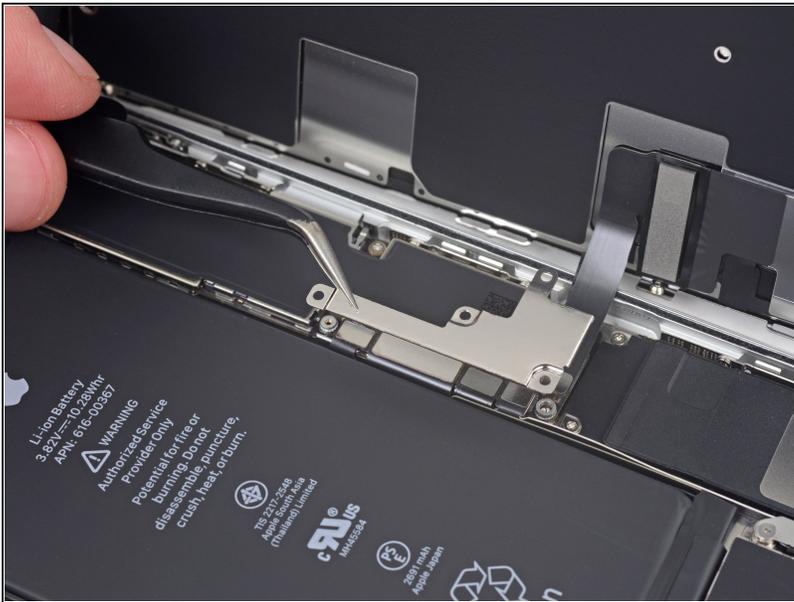
- 本のページをめくるように、ディスプレイの左側を持ち上げてiPhoneを開きます。
⚠️ いくつかの壊れやすいリボンケーブルがまだiPhoneのロジックボードに接続しているの
で、ディスプレイを完全に外そうとしないでください。
- 作業がしやすいように、iPhoneを開口をしたままディスプレイの後ろに衝立を置き、立てかけてください。

手順 18 — バッテリーの接続を外します



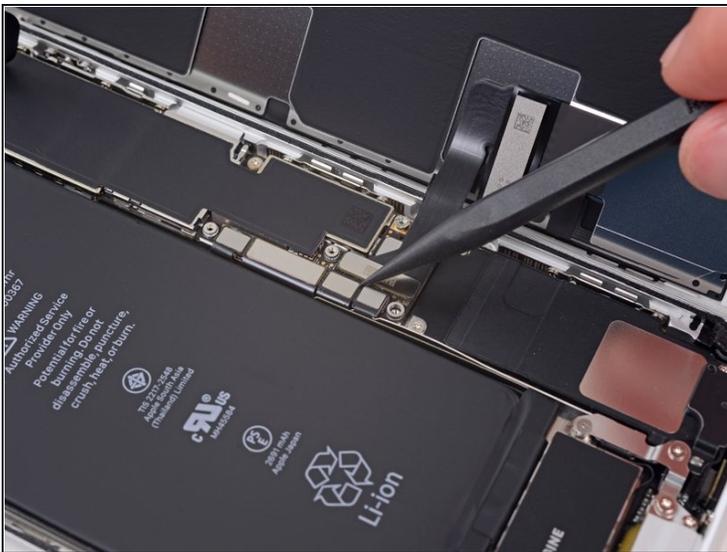
- 基板とディスプレイケーブル下側のブラケットを固定している次の長さの4本のプラスネジを取り外します。
 - 2本の1.3 mmネジ
 - 1本の1.4 mmネジ
 - 1本の2.7 mmネジ
- ☑ この手順では**外したネジを長さ別に保管してください**。再組み立ての際、正しい位置に戻さなければなりません。間違った場所にネジを装着してしまうと、ダメージにつながります。

手順 19



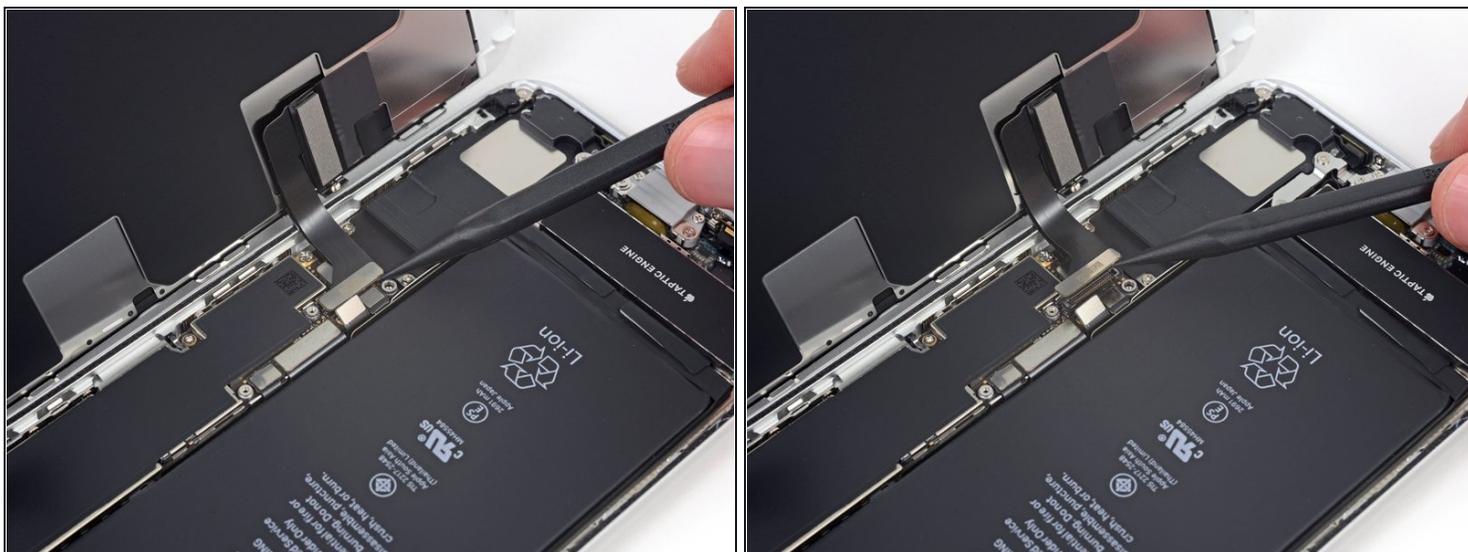
- 下側のディスプレイケーブルのブラケットを取り外します。

手順 20



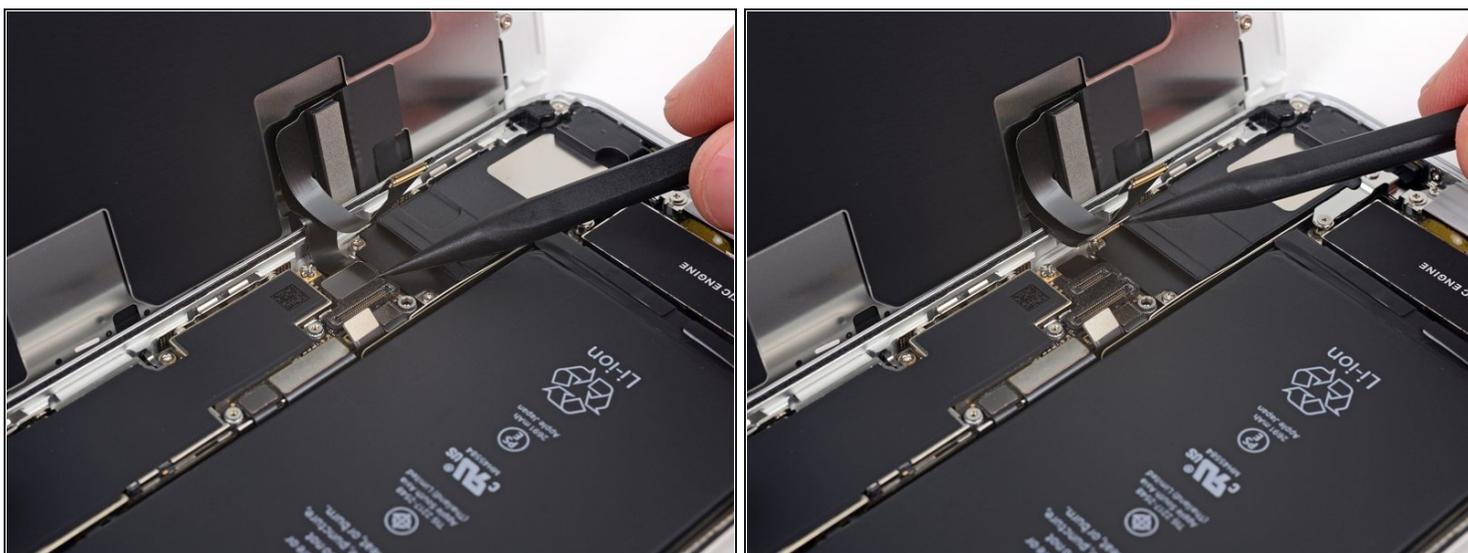
- スパッツァーの先端を使って、基板上のソケットからバッテリーコネクタの接続を外します。
- バッテリーコネクタケーブルを基板から少し離して曲げます。アクシデントでケーブルがソケットに接触してしまい、iPhoneの電源が入らないようにするためです。

手順 21 — ディスプレイアセンブリ



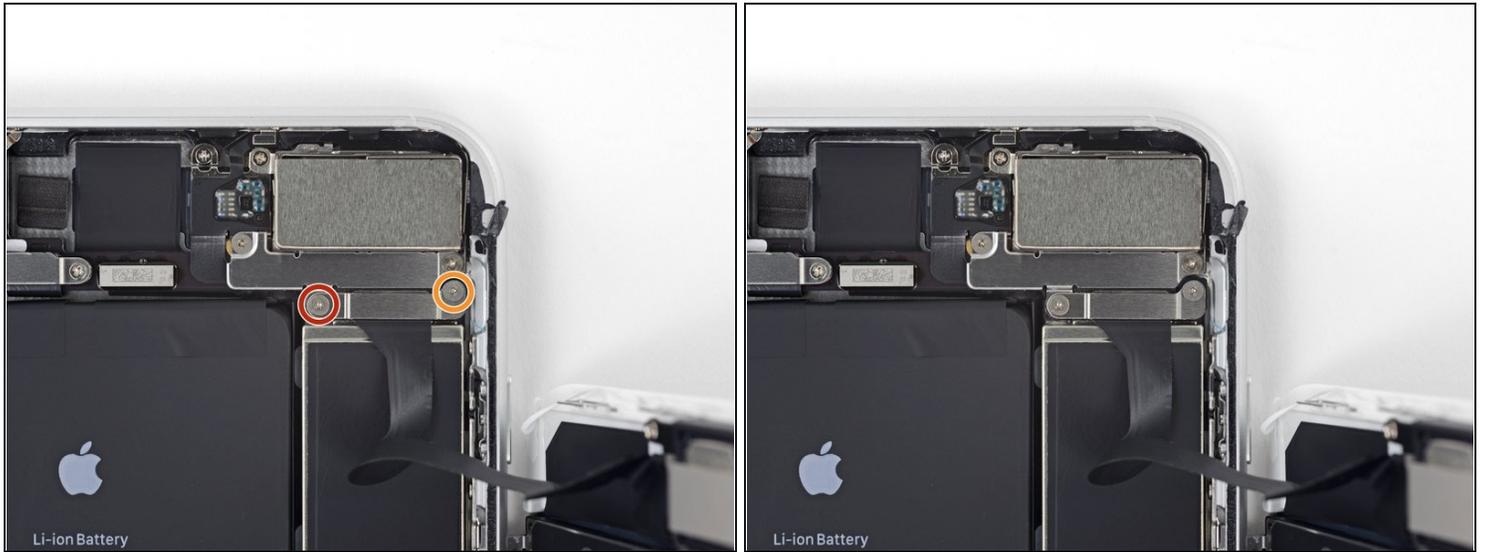
- スパッツァーの先端か爪を使用して、ディスプレイ下側にあるコネクタをソケットから外します。
- ☑ このようなプレスコネクタを再装着するには、片方の端がカチッと音がするまで押し、次に反対側も同様に押します。中央部分は押さないでください。コネクタの位置がちょっとでもずれていると、コネクタが曲がってしまい、永久的な損傷を引き起こす可能性があります。

手順 22



- 前の手順で外したコネクタのすぐ後ろにある、下から2番目のディスプレイケーブルの接続を外します。

手順 23



- フロントパネルのセンサーアセンブリコネクタとブラケットを固定している2本のtri-point Y000ネジを取り外します。
 - 1本の1.0mmネジ
 - 1本の1.2mmネジ

手順 24



- フロントパネルのセンサーアセンブリのコネクタを覆っているブラケットを外します。

手順 25



- スパッジャーの先端か爪を使って、フロントパネルのセンサーアセンブリのコンネクターをソケットから外します。

手順 26



- ディスプレイアセンブリを取り外します。
- ☑ 再組立中に、[ディスプレイ周辺に付ける接着剤を交換する](#)場合はここで停止してください。

手順 27 — イヤピースピーカー



- イヤピースピーカーのブラケットに留められた次のプラスネジを5本外します。
 - 1.8 mmネジ—2本
 - 2.3 mmネジ—1本
 - 2.4 mmネジ—1本
 - 2.8 mmネジ—1本

手順 28



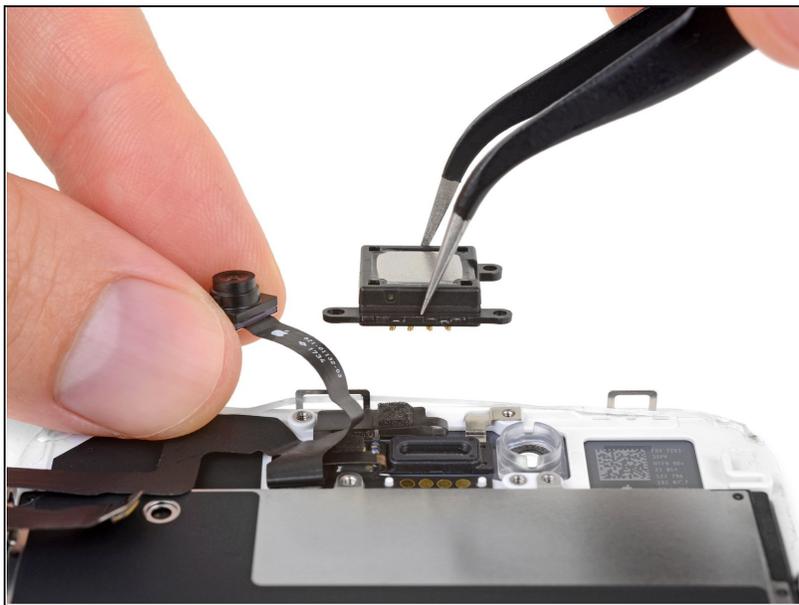
- イヤピースピーカーのブラケットを取り出します。

手順 29



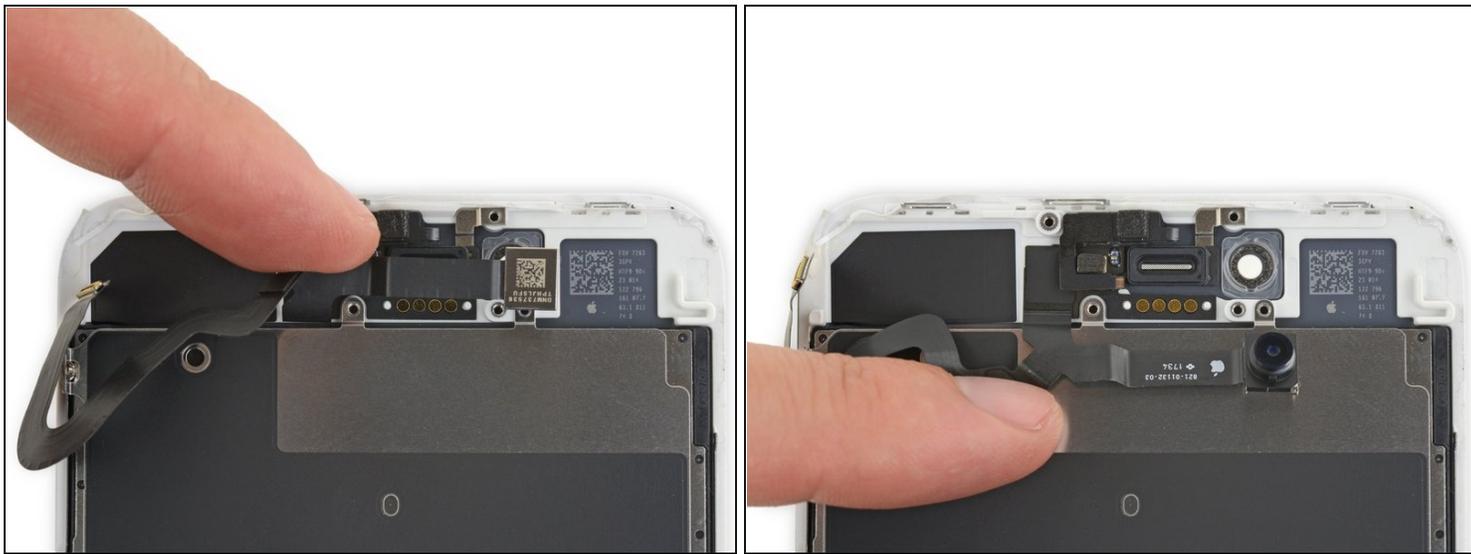
- スパッジャーの平面側先端を使って、フロントカメラを筐体から取り出します。
- イヤピーススピーカーにアクセスするため、カメラ用リボンケーブルを丁寧に曲げてスペースを空けます。

手順 30



- イヤピーススピーカーを取り出します。

手順 31 — フロントカメラとセンサケーブル



- カメラとそれに装着されたりボンケーブルをiPhone下側に向けて丁寧に折り曲げて、カメラの下に搭載されたコンポーネントにアクセスします。

手順 32



- ヘアドライヤーもしくはヒートガン、あるいはiOpenerを準備して、ディスプレイ正面の上部に約1分間当ててください。センサを固定している接着剤が柔らかくなります。

⚠ 次の手順で対応するセンサはとてもデリケートです。ダメージを与えずにセンサを取り出す確率を上げるため、必要に応じて何度も熱を当てて温めます。あるいは、数滴のイソプロピルアルコールをセンサの下に注入して浸透させてからセンサを取り出してください。

手順 33



- スパッジャーを環境光センサのフレックスケープルの下に差し込み、筐体からセンサーを引き出します。

手順 34



- 近接センサのフレックスケープルの下にスパッジャーの先端を差し込み、筐体からセンサを引き出します。

手順 35



- iFixit特製開口ツールをフロントカメラの反対側に搭載されたカメラアセンブリ用フレックスケーブルの下に先端を差し込みます。
⚠ iOpener、ヘアドライヤーを必要に応じて使い、ディスプレイの上部に熱を当てて、フレックスケーブルを固定している接着剤を柔らかくします。
- ディスプレイ裏側からフレックスケーブルの端を剥がします。

手順 36



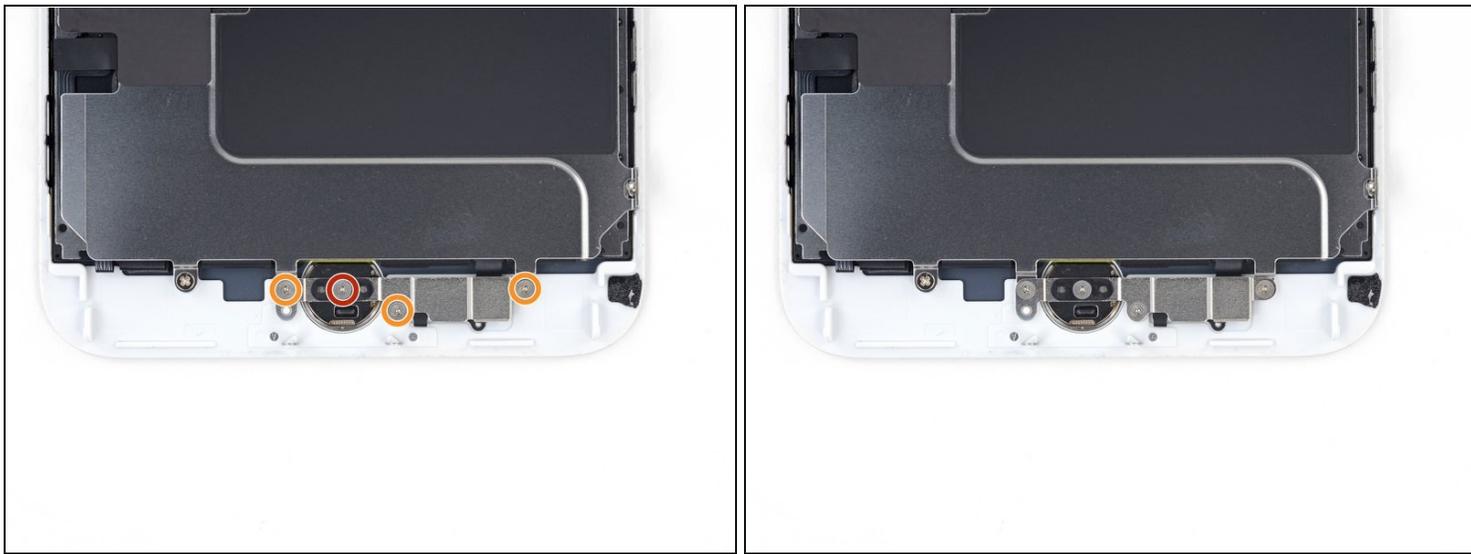
- 前の手順と同じように、スパッジャーの先端をフレックスケーブルの同じ位置の下に差し込みます。
- スパッジャーを円形のゴールドイヤホンスピーカーの端子の列の下に押し込み、フレックスケーブルの残りの部分を外します。

手順 37



- フロントカメラとセンサーケーブルアセンブリを取り出します。
- ディスプレイとカメラ/センサーケーブル背面に付いている3列の銅接点の間に黒い両面絶縁テープがあります。ディスプレイに付着したままか、ケーブルと一緒に外れることがあります。
- ☑ 再組立の際には、テープが所定の位置に付いているか確認、もしくはカプトンテープなどの適切なテープを使ってケーブル背面の接合部分を覆ってください。

手順 38 — ホーム/Touch IDセンサー



- ホーム/Touch IDセンサーを固定しているブラケットの4つのY000ネジを外します：

- 1.2 mm ネジ—1本
- 1.2 mm ネジ—3本

再組み立ての際は、これらのネジを締めすぎないようにご注意ください。ホームボタンが機能しない場合があります。

手順 39



- ホーム/Touch IDセンサーを固定しているブラケットを外します。

手順 40



- ホームボタンケーブルをソケットから外すためホームボタンケーブルコネクターの左端を持ち上げます。

⚠ コネクターが外れることなく浮き上がった場合、コネクター上端のケーブルをスパッジャーの平らな部分で押さえながらコネクター左端を持ち上げて下さい。ケーブルやコネクターを損傷するとセンサーが無効になるので注意してください。

手順 41



① ホーム/Touch IDセンサーの周辺を温めてホーム/Touch IDセンサーの繊細なケーブルを固定している接着剤を柔らかくし、安全に取り外せるようにします。

- ディスプレイアセンブリを返し、ディスプレイの接着剤を柔らかくするためヘアドライヤーか [iOpener](#)を準備しディスプレイの下端に約90秒あてます。

⚠ ディスプレイを過熱しないでください。触れられる温度より少し熱い程度にしてください。

手順 42



- 開口ピックを使用して、ホーム/タッチIDセンサーケーブルを固定している接着剤をディスプレイパネルの背面から静かに剥がしてください。

手順 43



- ホーム/タッチIDセンサーアセンブリをディスプレイの前面から持ち上げて取り外します。
- ☑ 再取り付けするには、まずケーブルをディスプレイの前面の穴に通します。
- ☑ 交換用のパーツに、[エクストラで Y000ネジ](#)がホームボタン付近に取り付けてある場合があります。ホームボタブラケットを再装着する前に、不必要なネジを外してください。

手順 44 — LCDとデジタイザ



- LCDシールドプレートステッカーの長方形の部分上部を剥がして、下にあるフレックスケーブルを解放します。

① このステッカーを交換しない場合は、完全に剥がす必要はありません。

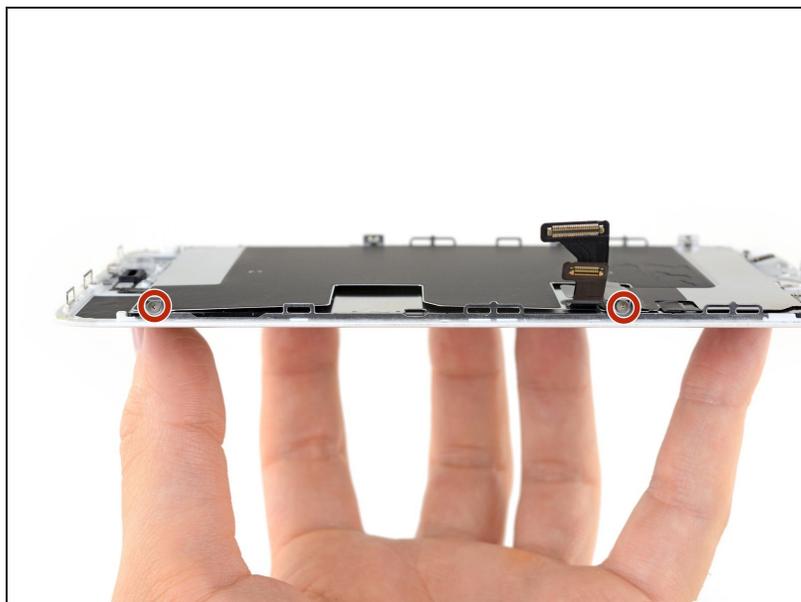
手順 45



- Y000 ドライバーを使って、ディスプレイEMIシールドの片側サイドから1.2 mm ネジを3本外します。

① このネジが緩まない場合は、ネジを回す際に強く押し込んでください。必要に応じてスパッジャーの平面側先端を使い、各ディスプレイクリップを後ろから動かないように固定すると、クリップを曲げることなく、ネジによりプレッシャーが加わります。

手順 46



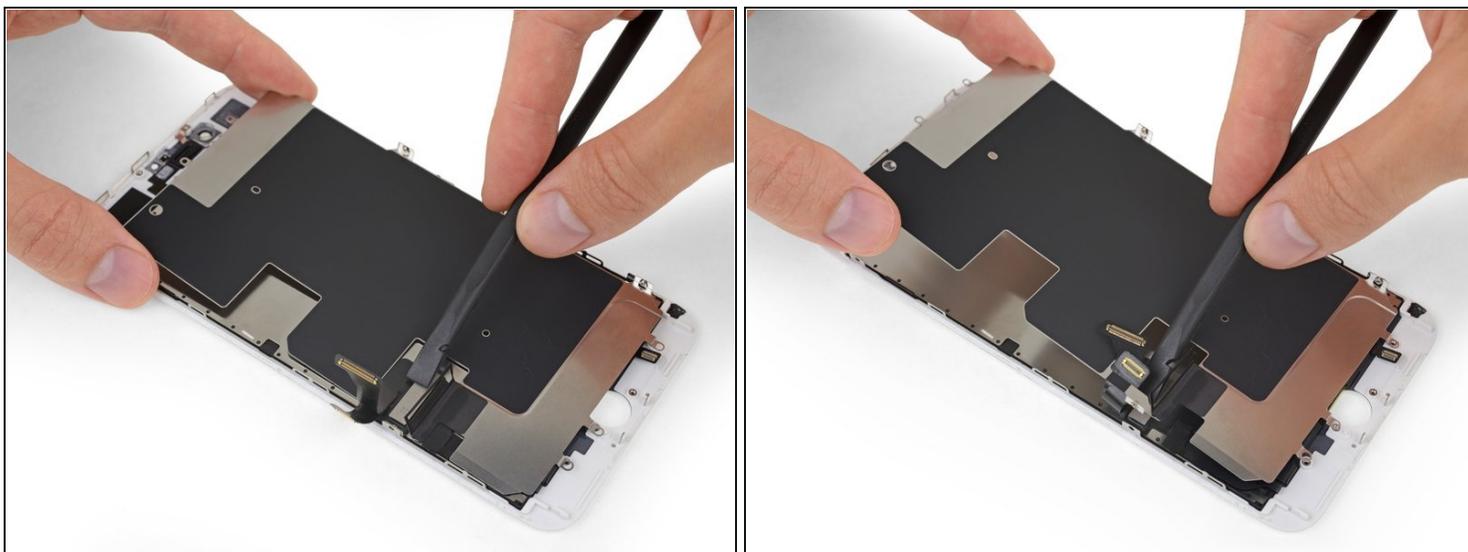
- Y000ドライバーを使って、EMIシールドの反対側サイドからさらに、1.2mmネジを2本外します。

手順 47



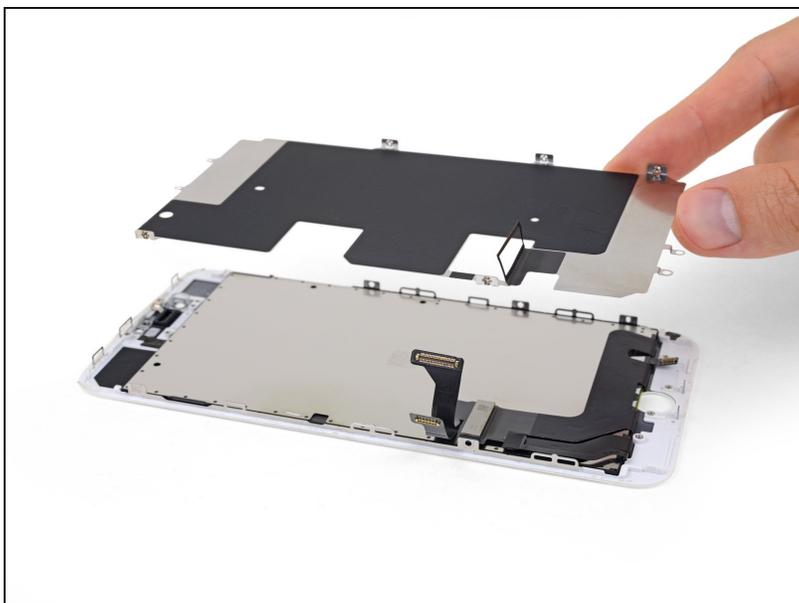
- ディスプレイ底側付近のEMIシールドに固定された1.8 mmプラスネジを外します。

手順 48



- LCDシールドプレート周辺のフレックスケーブルを押さえながら、LCDシールドプレートを持ち上げます。
- LCDシールドプレート内の切り込みからフレックスケーブルを解放します。切り込みに引っかけないようにご注意ください。

手順 49



- LCDシールドプレートを取り出します。

手順 50



- LCDとデジタイザのみが残ります。

交換用のパーツとオリジナルのパーツを見比べてください。残りのコンポーネントを移植する必要があるか、パーツを装着する前に接着剤の裏張りを取る必要があります。

デバイスを再組み立てする際には、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

不要になった電子廃棄物は [認証済みリサイクルセンター](#) で処分してください。

修理が上手くいきませんか？トラブルシュートのヘルプには[アンサーコミュニティ](#)を参照してください。